

支援募集

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art



静岡県立美術館
クラウドファンディング



ART&GREEN
Re,StART
project

次世代へつなぐ！ アートとみどりの散歩道 再生プロジェクト

「プロムナード屋外展示のメンテナンスをどうかお願いします。数年前から何となく気にはなっておりました。本日久しぶりに見て悲しくなりました。」

静岡県立美術館では、こうしたお客様のご意見に背中を押されて、このたび、アートと緑の散歩道「彫刻プロムナード」再生のためのクラウドファンディングの実施を決意いたしました。

これまでも美術館は継続的に「彫刻プロムナード」の環境整備や作品の修復に取り組んでまいりました。しかしながら、近年の物価高騰などを背景に、限られた予算内で作品の修繕費をまかなうことが困難になり、草木の手入れも行き届かなくなっています。なかでもとくに損傷が目立つ作品の修復には、専門家の技術と多額の費用が必要です。

開館以来、貴重な彫刻作品と四季折々の花々によって、美術館を訪れる多くの人々をお迎えしてきた散歩道です。その傷んだ作品を再生し、次世代にも楽しんでいただける憩いの場として、さらなる魅力向上に努めたい。

皆様の温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

8月2日(金)～10月30日(水)

目標金額 1,000万円



ふるさとチョイスGCF

大切な彫刻作品をよみがえらせた！

今回のプロジェクトでは、特に損傷がひどくなってしまった以下の2点を修復します。

トニー・スミスの《アマリス》(1)は、マットな黒が印象的な幾何学形態の彫刻作品です。作品の周りを回ると構成が絶えず変化して見え、開館以来、鑑賞者を楽しませてきましたが、近年、塗装の劣化により退色が進行し、亀裂、はげ落ち、さびが生じ、白色の下地が露出しています。地面に接する部分では、動物の尿かけによる腐食が進行し、層状の大きなさびの破片が落ちはじめています(2)。

清水九兵衛の《地簪》(ちかんざし)(3)は、盛り上がった地面から立ち上がるように設置された、アルミニウムを素材とする作品です。作家がこの場所のために制作した、唯一の作品です。本来であれば、周囲の緑を背景に、「京都レッド」と名付けられた赤色が映える作品ですが、現在、表面の塗料が多くの部分で剥離し、アルミ素地部分にも白錆が発生しています(4)。



1 トニー・スミス《アマリス》



2



3 清水九兵衛《地簪》



4

寄付金の使い道

トニー・スミス《アマリス》の修復費 約360万円

清水九兵衛《地簪》の修復費 約240万円

その他植栽やベンチなどの整備 約400万円

2024年度冬実施

- ・目標金額に達しなかった場合も、本プロジェクトに活用させていただきます。
- ・目標金額以上の寄付をいただいた場合、より過ごやすく、心地よい散歩道の整備に活用させていただきます。

寄付者の皆さまへ

静岡県立美術館 館長 木下直之



彫刻プロムナードは美術館の誕生とともにありました。広場や庭園など屋外の演奏会がプロムナードと呼ばれるように、この坂道を上るところから、すでに美術館は始まります。2年後に、当館は開館40周年を迎えます。さらに

40年後、100年後へと美術館をつないでいくことが、私たちの使命です。この大切な仕事に、みなさまのお力をお貸しください。彫刻プロムナードをよみがえらせ、坂道で過ごすみなさまの時間が楽しいものになりますように。

ふるさと納税でこのプロジェクトを応援しよう！

ふるさと納税制度を利用し寄付を行うことで、寄付金のうち2,000円を超える部分については所得税の還付、住民税の控除を受けられます。静岡県外在住の方には、返礼品も用意しています。

返礼品の例

当館オリジナルグッズ、当館招待券、特別鑑賞会(伊藤若冲《樹花鳥獸図屏風》、石田徹也作品)など

※ふるさと納税制度上、県内在住の方には返礼品はご用意できません。



当館オリジナルグッズ



伊藤若冲《樹花鳥獸図屏風》右隻

寄付方法

QRコードからアクセスし、インターネット上で寄付することができます。郵便局からの入金をご希望の方は、ご連絡をいただけましたら郵便局の払込取扱票を郵送いたします。

静岡県立美術館 企画総務課 054-263-5755
soumuPMA-shizuoka@pref.shizuoka.lg.jp



ふるさとチョイスGCF
すべての寄付がふるさと納税の対象となる、政府(自治体)が行うクラウドファンディングです。